

月刊

永藤タイムズ

広域的な仕事と大阪府の役割

～平成27年度予算から考える～



大阪府議会議員
永藤英機です。

広域行政って何？



① 先行的に取り組みを始めた広域的な新規・拡充事業※1への大阪府の関与

大阪府・大阪市では、今まで大阪市内で実施してきた住民サービスについて、決して十分とは言えない状況が続いていました。そこで、府市間の連携のあり方を見直すために、大阪府全体に及ぼす効果を考えた上で大阪にふさわしい大都市制度を目指して大阪府知事・大阪市長が共同で取り組むことになりました。

平成27年度の予算（一般会計）ではその内容の一部が折り込まれています。主なものは以下の通りです。

※1 うめきた2期開発（区画整理・緑化・新駅の設置）、新しい美術館の整備、大阪港でのクルーズ客船の母港化、IR統合型リゾート）

関連事業、インフラ基盤整備（高速道路、なにわ筋線、リニア）観光集客など

② 差等補助※2の解消

※2 府が任意で行っている事業で、その対象から政令市を除外するもの（鉄道駅舎のエレベーターや可動式ホームなどの設置に関する補助など）

③ 宝くじ収益金の府市配分割合の見直し

大阪府と大阪市の広域的事業にかかる役割分担の見直しに伴って、販売実績と夜間人口のシェアに応じて配分する。

※見直しは必要に応じて随時協議を行う

これらは、今の大阪府知事と大阪市長が同じ認識だからこそこできることです。もし違う考えを持った知事・市長が選ばれたらどうなるか・・・？

私たち大阪維新の会は、その場合でも不具合が起きないようにする政策を提案しています。それが「大阪都構想」です。また、広域行政での連携は堺市においても検討されるべきことです。

長年の課題である堺東駅前の再開発事業、堺市域を結ぶ東西交通などは、堺だけで実現できるものではないことは今までの経緯が示しています。それは堺だけにとどまらず、南大阪の経済にも影響を与えます。観光政策についても同様です。

図解 大阪都で始まる経済成長戦略 ②まちづくり編

先行開発区域

西日本の中央駅である大阪駅に直結する世界にアビールできるビジネス・交流拠点（グランフロント大阪）



2期区域

民間の力を結集し、傑出した都市空間を創出

梅田貨物駅跡地

・大規模な「みどり」の空間確保
・閑空アクセス等の広域鉄道ネットワーク機能向上（新駅設置等）

JR東海道線交差（地下化）

「みどり」と一体となった開発

うめきた先行開発区域

阪急梅田駅

新駅設置

JR大阪駅

平成24年9月議会での永藤の委員会質問によって実現した「大阪府のツイッター公式アカウント」が、現在ではもずやん用として使われています！

大阪府



「ゆるキャラ」ブームがすっかり定着しました。行政組織というものは、「あそこがやっているなら、うちも」と後追いをする傾向があります。大阪府の関連キャラクターもその例に漏れず乱発した結果、実に92体にも上っていました。そこで松井知事は増えすぎたキャラクターを一体だけとして、他のキャラクターは更新しない方針を出しました。一本化されたのは、1997年のなみはや国体キャラクターの名前を一般公募した「もずやん」。昨年の9月議会では広報担当副知事に就任したもずやんが大阪府議会の議場で挨拶。今年1月にはあの熊本県の「くまモン」とそれぞれの地元を一緒にPRすべく共同声明に調印。以降、テレビや新聞で取り上げられることも多くなりました。

くまモンのアピール力にはまだまだ遠く及びませんが、今後のもずやんの精力的な大阪府のPR、情報発信に期待したいと思います。

● 出前 府政 報告会、行います！ ●



3名様以上お集まりの場にお伺いして、府政の現状について直接お伝えします。右下に記載の電話、FAX、メールなどでご相談ください。(会費無料)

月刊永藤タイムズバックナンバー案内

月刊永藤タイムズのバックナンバーをホームページにて公開しています。

<http://www.nagafujihideki.com>

ながふじひでき

検索

毎月
発行
して
います！



コラム「私たちが暮らす、街のために…」

この「永藤タイムズ5月号」を皆さんがご覧になる頃には、大阪市内での住民投票の結果が出ているはずです。大阪市民の皆さんは、自分たちが暮らす街の未来を考え判断をしました。これからの日本では少子化・高齢化の進行が避けられません。高齢者の人口が増えることで、医療・介護・年金など社会保障にかかる費用は劇的に増加します。一方で子供の数が少なくなることで、将来的な生産年齢人口も減少します。このままの状況では、必要な費用は増えていくのにその財源となる税収は減り続ける、ということが目に見えています。もし何も手をつけないで、このままの行政サービスを維持することはできません。地方行政の状況も同じであり、むしろ住民にとって身近なだけに切実です。大阪維新の会が掲げている大阪都構想は、大阪再生、そして将来の大阪のためにこの状況を改善する政策です。堺市民の皆さんにも、私たちが暮らす街の未来を考えて判断をしていただく場面が訪れることと思います。

「永藤タイムズ」は大阪府政の情報発信を通じて、大阪の政治に関心を持っていただきたいという思いで発行しています。ご不明な点があれば、右の連絡先までお気軽にお問合せください！

【永藤英機 プロフィール】

昭和51年7月13日生まれ(38歳)。
大阪府立大学経済学部を卒業後、SEとしてコンピュータ会社勤務、その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。2015年4月、大阪府議会議員に二期目の当選。
大阪維新の会大阪府議団・教育部会長



■ 府政に関する相談やお問い合わせは
大阪維新の会 大阪府議会議員

永藤英機事務所 まで！

〒590-0971 堺市堺区栄橋町1丁7-3 栄橋ビル4階

TEL (072)228-3331 WEB: <http://nagafujihideki.com/>

FAX: (072)344-5676 MAIL: info@nagafujihideki.com



ご意見、
ご感想を
お寄せ下さい！

